

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
22131	母子保健事業	保健福祉課	保健係	野澤 秀秋	河手 潤子
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2124
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0414	町保健対策推進事業	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり	
		節 (コード選択)	2節	健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	健康づくりの推進	
		目[主な施策] (コード選択)	3目	母子健康管理の充実	
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他			
事務期間	(開始) 23 年度 ~ (終了予定) 28 年度		<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

4～5ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳の乳幼児及びその家族

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

乳幼児の発育発達を確認するとともに、疾病の早期発見・早期治療を推進する。また、保護者が抱く不安や悩みの解消を行う。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 該当者に健診の案内通知を行う。
- 2 健康教育・問診・身体測定・医師及び歯科医師の診察・各種検査等を行う。
- 3 保健師による育児相談、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による歯科相談、心理士による心理相談を行う。
- 4 健診未受診者に次回の案内や受診勧奨・見及び家族状況の把握を行う。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	健診受診率	%	93.2	93.7	95.0	0.99	95.0
	説明	対象者に対する健診実施者の割合	目標値設定の根拠	実績より				
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明		目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	要観察・要精検・要医療の項目の発見率	%	42.6	53.0	55.0	0.96	55.0
	説明	受診者に対する、各項目毎の経過の観察や医療機関等の受診が必要者の割合	目標値設定の根拠	実績より				
②	指標名	健診未受診者で状況未確認者の割合	%	1.0	1.0	0.3	0.25	0.3
	説明	対象者に対する状況未確認者の割合	目標値設定の根拠	対象児の疾病の早期発見・早期治療、養育環境の確認や虐待の早期発見と予防のために状況未確認者をなくすことが必要。				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み	
		7,514	8,507	8,054	
対前年比	%		113.2	94.7	
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)					
B)一般財源(税金)		7,514	8,507	8,054	
①事業費	(千円)	2,802	4,017	3,689	
対前年比	%		143.4	91.8	
②人件費の概算	(千円)	4,712	4,490	4,365	
対前年比	%		95.3	97.2	
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02	0.71 0.70 0.71 0.73 0.73 0.73	4,712 4,490 4,365	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート			0 0 0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

健診未受診者へ家庭訪問を実施。状況把握をおこなった。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

出生児の全件訪問を、助産師・保健師が実施

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

少子化や核家族化が進む中、母子の健やかな成長を支援している。毎年の乳幼児の健康状況の分析を進める中で、状況にあった検診を今後も継続して進めていく。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択